

2014/11/9 の定期メンテナンスにおけるアップデート情報

2014年11月9日に定期メンテナンスを実施しました。

[事前情報でお知らせしたkintone APIの変更点](#)のほかに、次の変更が適用されています。

kintone JavaScript API

改修された不具合

- レコード一覧画面のフィールド値変更時イベントで、数値フィールドの値が更新できない。

kintone REST API

改修された不具合

- プロセス管理機能の作業者の初期値をレコード作成者に設定したアプリに、APIでレコードを一括登録すると、リクエスト内で指定したレコード作成者が作業者にならない。

その他

11月9日以降に作成された環境では、初期状態でAdministratorが使用停止中になっています。また、使用停止中のユーザーがプロセス管理の作成者に指定された場合、作業者は未設定になります。レコード作成者を指定せずにAPIトークンを使用してレコードを登録すると、Administratorがレコードの作成者になるため、登録したレコードの作業者は未設定になります。

※以降は、事前情報でお知らせしたkintone APIの変更点です。

kintone REST API

改修された不具合

- 言語を英語に設定しているユーザーが、APIで次の操作を実行すると、エラーメッセージに全角記号が含まれる。

発生条件	変更前	変更後
使用停止中、または削除されたユーザーをスペースのメンバーに追加しようとする	The user (code : {0}) not found. The user may have been deleted or deactivated, or have not been registered as a \$kintone\$ user.	The user (code: {0}) not found. The user may have been deleted or deactivated, or have not been registered as a \$kintone\$ user.
存在しない組織を指定して、アプリのアクセス権を更新する	The specified department (code : {0}) not found.	The specified department (code: {0}) not found.
存在しない組織を指定して、スペースのメンバーを更新する	The department (code : {0}) could not be found.	The department (code: {0}) could not be found.

追加された機能

ありません。

kintone JavaScript API

改修された不具合

- [Internet Explorer 8の現象]kintone.apiを使用してREST APIを実行した場合に、キャッシュされた結果が返される。
不具合の改修後は、kintone.api() でブラウザのキャッシュを無視するHTTPヘッダーが送信されます。

追加された機能

- kintoneに適用されているデザインが、新デザインと旧デザインのどちらであるかを取得する機能。
新デザインが適用されている場合は2、旧デザインが適用されている場合は1が返ります。
※11月版で新デザインが追加になります。

例：

```
// 新デザインが適用されている場合
var uiVer = kintone.getUiVersion();
console.log(uiVer);
// 出力結果：2
```

